

基本方向4 幼児教育の充実のための環境づくり

子供が夢中になって遊べる環境にしましょう

幼児教育は、教育現場はもちろんのこと、家庭や地域社会においても幅広く行われるものであるため、幼児教育の充実に向けて、関係する全ての主体（家庭・地域社会・教育現場・行政）がそれぞれの役割を的確に果たし、連携して取り組むことが必要です。宮城県は、幼児教育に関係する各主体と連携しながら、幼児教育センターを中心として教育現場における幼児教育の内容面の質の向上を図る取組を行うとともに、親の学びや体験活動の機会の提供など多様化する幼児教育へのニーズに応じた環境づくりを進めます。



取組5 地域の支援体制の充実

子供の成長を
支援する
環境とは？

地域の教育力の向上 安全・安心な遊び場 家庭教育支援チームの充実
地域のみんなで子供の成長を見守る など

社会全体で支える

子供の発達や学びをより豊かにするためには、家庭・地域社会・教育現場がそれぞれの立場での教育機能を向上させるとともに、相互の連携・協力の重要性を共に理解し、子供の健やかな育ちを社会全体で支えることが必要です。

子供が地域で元気に遊ぶことができるよう、当事者となる子供の声に耳を傾け、各主体が連携して子供にとっての遊びの大切さを社会全体に啓発するとともに、安全・安心が確保された遊び場やコミュニティを形成できる場所づくりを促進しましょう。

地域で育てる

地域によっては「地域コミュニティ」というものが十分機能していないと言われるかもしれませんが、どこの地域であっても、子育ての支援や人の輪づくりを進める中心となる「場」を設けることが必要です。

一方で、日頃から地域の身近な人へ挨拶したり、何気ない言葉を交わしたりする近所付き合いをしていくだけでも地域のコミュニティは形成されていきます。日常の小さな行動も、近所の子供たちの育ちを見守り、子育てをする保護者を支えることとなり、子育て家庭の孤立を防ぐことにもつながります。

地域資源の活用

子供が豊かな生活体験を得られるようにするためには、地域の自然に触れたり、地域の様々な人々と交流したり、地域の施設を活用したりするなど、地域の資源を活用する取組の推進が必要です。

地域の公園・児童館・図書館・自然の家などの公共施設や地域コミュニティ・放課後児童クラブ・子供会組織の活用や、子育てサポーター・ボランティアの養成・活用を促進しましょう。また、家庭教育支援チームの設置を推進し、地域の資源・人材の活用に資するネットワークづくりに努めましょう。

教育現場・行政の特性を生かした支援

教育現場は、地域の子育て支援センター的役割を果たすとともに、地域の実態や保護者・地域住民の要請を踏まえ、子供の健全育成・子育て家庭の養育力の向上・親子や様々な人との関係づくりのため、施設や機能を開放し、子育てを支援しましょう。

また、行政は、地域社会において子育ての支援の担い手となる人材の育成・活用や積極的な情報提供、地域の子育て経験者や専門家などとの連携を通して、子育て家庭を支援しましょう。宮城県は、地域社会におけるこうした取組を積極的に支援します。